

いちご会報

会長挨拶 近況報告) 砂光 正博

いちご会の皆様、いかがお暮しですか？
大変な世の中になっておりますね。

私達、戦時中を知っている世代にとりまして
も、息苦しい世の中になっております。

早く「コロナ」が終息するのを祈るばかりです。

さて、私についての近況です。

買物、洗濯、食事の支度、掃除等の家事全般
をやりとげて、「ローレームくり」を、モット
ーに過ごしております。

ボランティア活動も、「コロナ」を意識しながら
ポチポチやっております。

シルバー作品展も、「コロナ」禍の中、八月三十
日を持ちまして終了しました。作品の搬入受
付から返却迄受付でがんばりました。心身共
に疲れ果ててしまいました。

令和二年十一月九日、江津湖一帯を「ミミ拾
い」しながら散策しました。

令和三年三月二十九日、江津湖一帯を「ミミ拾
い」しながら散策しました。

最後に、ボランティア一班の方々と憧れの
ハワイ航路(好きになった人)を音楽に合わ
せて踊り、皆さん方からヤンヤンヤの喝采
を受けました。私達も久々の踊りだったので、

大変うれしかったですね。

令和三年十月十四日、坪井川河川敷の草取
りが予定されております。老骨にムチ打ち、参
加したいと思っております。以上です。

※本原稿は昨年七月に頂いた物です。

近況報告』

現在執行猶予中 二班 坂本 正詮

高校の友人が前立腺癌で手術し、その時P
SA検査を勧められたので、病院で検査した
ところ、基準四〇以下に対して四五と診断
されました。その後MRI検査や生体検査し
たところ、小さな前立腺癌が見つかりました。
今後、三ヶ月毎の定期検査を行い、様子を見
ることで、現在執行猶予中です。
男性の皆さん、是非PSA検査をお勧めし
ます。

日課 二班 濱田 昭三

世界中が「コロナ」禍で、大騒動しています。
熊本市も大都市並みの「まん延防止」や市
内飲食店の時短等で苦慮している様子、一日
も早いワクチンの接種が、待望されています。
高齢化に伴い「いちご会」のメンバーも歳相
応に少なくなってきました。

私は、最後の「奉仕」として、地区のお
世話をさせて貰っています。毎日「ミニ
テーション」の見廻りを続けて、結構、忙し
い日々を過ごしております。

それから、さわやか九十四号ありがと
うございます。

くまもと偉人伝に紹介された「永田
隆三郎氏は、私の出身地 旧天草郡栖本
町)の人で、尊敬する人です。

※本原稿は昨年五月〜十二月に頂
いた物です。

大人の学校 二班 大原 英子

毎週、火曜日と水曜日に大人の学校に
通っています。

桃栗三年柿八年 四班 大塚 正彦

「コロナ」禍は、感染から一年以上経過し
ましたが、これからは、ウィズ「コロナ」での
日常生活が、強いられる気もします。

趣味で、月二回、園芸教室に通っていま
す。さわ大十五期会の卒業パーティーで、
阿蘇の佐藤さんから誘われ、数名の方が
入会しましたが、今は、私ひとりになり
ました。

その仲間から「桃栗三年柿八年と云う
けど、その続きは、知っている?」と。

誰も、答える人は、いませんでした。

彼が言うには

稗栗三年柿八年、梅は酸い酸い十三年、梨はゆるゆる十五年、枇杷はバカヤロウ十七年、柚子の大馬鹿十八年、みかんの間抜けは二十年、女房の不作は六十年、亭主の不作は「これまた一生」と。

そこで、女性の方から 女房の不作は六十年とは、どいつのいつ意味?」との質問がありました。

「これも、誰も分かりませんでした。

皆さんは、如何ですか?」

「コロナ太り 六班 橋口 征子

元気です。皆様に早く会いたいです。

「コロナで体重は増えるばかり、カーブスに行き始めています。

ガイドも大道芸も休止状態です。楽しみは手芸のみです。

四葉葉のクローバーがたくさんあります。欲しい方は、事務局を通して送ります。

私の体重 九班 坂井 満子、

やつと元気になりました。食欲がなくなり四〜五キロ減りました。洋服サイズは、お陰様で、びっぴたしになりました。

早くコロナが終り、皆様とお会いして食事をしたいですわ。

よもやま話

九班 森田 恭子

いちご通信二十三号をきつかけに、九班で集まるうと話し合い、食事会をしました。

食事後、小春日和なので、八景水谷 はけのみや(公園)に行きましたら、クレソン 西洋ぜり(を)採っている人がいたので、少し分けて貰いました。桜の木が多く「花の時期に弁当を持って、花見をするといいな」と、話したことでした。

後日談… 「コロナの関係で花見は、できませんでした。今年は残念でした。又の機会を楽しみに待ちましよう。

五月十三日は午前中、雨で午後は止まりました。甥が東京から来ていたので、アーメの登場者の像が、県内のあちこちに立っているのを見て回りました。

梅雨のはしりの口で、見物人もいなくて、ひとり寂しく像は立っていました。俵山の「明の里」には、「コロナの関係で、まだ像は立っていない」と言うことでしたが、風が強くと吹き倒れそうでした。

因みに、これらの像は、熊本出身の漫画家、尾田さん書かれたワンピースの登場人物で、熊本を元気づけるための企画だそうです。

県庁 動物園前 高森駅前 阿蘇駅前 木山運動公園前 御船ふれあい広場など、アーメを観たことない私には、さっぱり解りません。

『立田山』の名前の由来ですが、地名を調べ

ている人によると、中世期 鎌倉室町時代(豪族の立田氏が居城として「立田城」を築いたとなっています。

立田伊賀守重雄 ひびかつとその子立田小太郎重徳 ひびのり、後の将監ひょうげん(です)。将監の墓は 宝積寺「ほつじやんぐい」にあります。

「柳」

四班 大塚 正彦

歳を取り、生え際前線は後退して、髪も少なくなってきました。

しかし、30カットでは、髪の毛の多い人も、少ない人も、料金は、千二百円です。

少ない私としては、不満があります。そこで、一句

禿げた人 カット料金 半額に」

なかなか、「コロナも収まりそうにありません。外出時には、必ずマスク着用しています。下手に、セキもできません。そこで、一句

風邪なのに セキただけで 振り向かれ」

編集後記

会報の原稿は、常時、募集しています。近況報告のほか川柳、肥後狂句、詩、旅行記など、投稿頂ければ幸いです。